



生活支援体制整備事業

# お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

第14号 2020年8月



## 7月27日(月) “お互いさま ひろお” 例会

7月27日(月)午後2時から広尾町コミュニティセンター大ホールで、令和2年度第1回目の例会を開催致しました。今回は11名の方に参加していただきました。

本来であれば昨年度に引き続き暮らしの中にあるつながり(地域の宝物)について深める予定でした。しかし、新型コロナウイルスの影響もあり、予定を変更し、視野を広げ地域の課題や困りごと、今後取り組みそうなことにも焦点を当てます。

今回は**広尾町のお買い物**について話し合い、現状の整理を行いました。特に多かったのは「**今は運転できていいから良いけど、免許を返納した後買い物に行けるか不安**」という声でした。

さらに、「**身近に頼れる人がいない**」「**子どもに迷惑をかけたくない**」という声も多かったです。紹介したのはほんの一部です。他の声は下記の図をご覧ください。

このような声は会のメンバーだけに言える事ではないと思います。同じように不安に感じている方は多いのではないのでしょうか？ 今回の続きとして9月1日に例会を開きます。この開催では現状をふまえ今後どのような事が必要になるかを話し合いたいと思います。

地域のことを考えるには、専門職だけではうまくいきません。なぜなら、**見えるようで見えない部分がたくさんあるから**です。皆様の**普段の生活上で見えている地域のこと、それが地域づくりの原動力になります**。引き続き皆様のお声をお聞かせください。

## メンバーから出た声

※一部を抜粋しています

取り組むのに時間がかかりそう

緊急度が高い

お店が減り買い物が不便

食料品は見たい

運転を辞めたら買い物に行くことができない

免許返納したとき不安がある

身近に頼れる人がいない

配達してもらうのに1品だと頼みにくい

気軽に出かけられる場所があると良い

制度等の手続きが分かりにくい

1人暮らしの人見えなくなると不安

健康に意識して子供に迷惑をかけない

緊急度が低い

すぐに取り組みそう